



# PATA 日本支部事務局ニュースレター

June 2004 VOL.8

PATA 日本支部会員の皆様へお届けするホットニュースです。

## 2004年度（平成16年度）PATA 日本支部総会報告

すでに会員の皆様には議事録をお送りしておりますが、去る5月18日（火）午後4時から、新高輪プリンスホテルにおいて2004年度（平成16年度）のPATA 日本支部総会が開催され、2003年度の事業報告・会計報告の後、2004年度の事業案・収支案とともに、新役員が発表されました。総会に引き続き開催された懇親会においては、国土交通省総合政策局観光部の田端旅行振興課長やビジット・ジャパン・キャンペーン事務局の森山事務局長をはじめ、来賓を含む70名の方々にご参加頂き、午後8時過ぎまで活発な意見交換が行われておりました。今回、日本支部総会では、PATA 本部を代表して来日した Mr. KC Sim (Director) と Mr. Stephen Yong (Director-Business Development) より、PATA トラベルマートとプロジェクト・フェニックス (PATA エリアの観光活性プロジェクト) のプレゼンテーションが行われました。また、PATA 本部と支部の関係強化策に関するプレゼンテーションも行われ、出席会員からは日本支部に対する PATA 本部の見解についての質問があり、今まで希薄になっていた PATA 本部と日本支部との関係強化に努めていく計画がある旨説明がありました。来日期間中、PATA 本部ディレクター2名は、ビジット・ジャパン・キャンペーン事務局、JATA、JNTO 等を表敬訪問し、インバウンド促進を含めた今後の共催事業の可能性等についてのディスカッションを行いました。

## PATA トラベルマート2004（2004年9月、タイ・バンコク）

第27回目を迎えるPATAトラベルマートが、今年の9月22日から24日までタイのバンコクにて開催されます。昨年10月にシンガポールにおいて開催されたトラベルマートには、世界33カ国から213のセラーが、そして46カ国から190のバイヤーが参加し、成功裡に終了いたしました。本トラベルマートは、「事前アポイント制」により、参加セラーが希望するバイヤーと必ず商談ができるようコンピューターによるスケジュール調整（1セッション20分×38セッション）を行っているため、非常に効率的な商談が行われると高い評価を得ております。現在、PATA本部では、本トラベルマートに向けて“Key Market for Buyers Acquisition Campaign”（主要市場からのバイヤー獲得キャンペーン）を実施し、アジア、太平洋、中東/アフリカ、欧州、北米からのバイヤーを招聘すべき準備を進めております。本格的な商談を目的としたトレードショーへの御参加をご希望の皆様は、是非参加についてご一考下さい。詳細は、PATA 日本支部事務局までお問い合わせ頂くか、PATA Website ([WWW.PATA.org](http://WWW.PATA.org)) をご参照下さい。

また、7月4日までに申し込みをされた方は、アジア太平洋及び世界中から参加するバイヤーとのアポイント優先権という特典が受けられます。

ロシア、東ヨーロッパ、中国、インド、中近東、北東アジアといった新興アウトバウンド・



# PATA 日本支部事務局ニュースレター

June 2004 VOL.8

PATA 日本支部会員の皆様へお届けするホットニュースです。

マーケットへ、ビジネスチャンスを広げる機会としても、本トラベルマートへの参加をお勧めいたします。

■Booth (3 m x 3 m) US\$1,650 (バイヤーとのアポイント付き)

■セラー登録料 US\$ 460 (1 人目) US\$400 (2 人目)

なお、本行事日程(9/22-9/24)については、JATA 世界旅行博との日程(9/24-9/26)と重なっており、今後の PATA 関連の行事については、本部とも日程調整していくこととなっております。ちなみに、2005 年トラベルマートはマレーシア・クアラルンプール(9/27-9/30)で、2006 年トラベルマートは香港 (9/12-9/15) での開催が決まっております。

## **PATA 日本支部新規事業「ビジネス実用英会話教室」を開催**

本年度の PATA 日本支部新規事業として、旅行業界における人材育成と質的向上に貢献することを目的とした教育プログラムの実施を予定しており、その一環として「ビジネス実用英会話教室：旅行業界編」というプログラムを定期的で開催し、国際会議、国際セールスにも対応できる実践英会話を学んでいただく機会を予定しております。

詳細につきましては追ってご連絡させていただきます。

## **PATA 本部と支部の関係強化策 (PATA Chapters Integration Plan)**

PATA 濟州島総会において開催された PATA 本部理事会において「PATA 本部・支部関係強化策 3 ヵ年計画 : A three-year Chapters Integration Plan」が承認されました。これは、2004 年から 2007 年までの 3 年間の間に PATA の支部会員を増やし、現在 70 ある世界中の PATA 支部間同士の関係及び PATA 本部と支部間の関係強化を図ろうというものです。本プランの実施過程においては、来年 2005 年のマカオ総会までに以下の基準 (1991 年基準) を満たすことが前提となっており、PATA 非会員は、その基準を満たしている支部であれば「PATA 支部会員」として認められるというものです。

- 支部会長及び副会長は PATA 本部メンバーであること
- 支部会員のうち最低 10 会員は PATA 本部メンバーであること
- 最新の会員名簿及び支部会議の議事録を PATA 本部に提出すること

今後、このプランにより、2007 年までには全ての支部会員が PATA 本部会員になることを計画しています。また、PATA 本部は、「リテール・トラベル・エージェンツ」という新しい会員カテゴリーを設け、より多くの支部会員獲得に努める予定です。

40 年前から世界中に広がってきた PATA 支部の強力なネットワークにより、PATA は現在のような環太平洋圏の旅行業界において最も影響力のある組織となることができた



# PATA 日本支部事務局ニュースレター

June 2004 VOL.8

PATA 日本支部会員の皆様へお届けするホットニュースです。

同時に、多くの政府観光局や旅行業界の会員がヨーロッパや米国におけるマーケティング・ツールとして PATA を活用してきました。そして 90 年代に至っては、通信技術やビジネスのやり方で多くの新しい局面を迎え、PATA のウェブサイトが大いに活用されております。そのような状況の中で、PATA 支部のあり方も変わってきており、支部会員へのメリットを真剣に考えなければならない状況に来ております。PATA 本来の理念というフレームワークの中ではもとより、独自の地域性というものも考えなければなりません。これこそが支部にとって難しい課題です。今まで、日本支部と PATA 本部や他支部間との関係が希薄になってきておりましたが、今後はより深い関係で、様々な事業の展開が期待されております。なお、本件については、別途詳細を説明・議論する機会を予定しております。

## PATA 基金 補助金制度への申し込みについて

PATA 基金は、アジア太平洋地域の環境・歴史物の保存、修復や様々な教育部門への寄付として使われておりますが、2004 年度に集められた基金の補助金制度への申し込みを 7 月 31 日まで受け付けております。旅行産業にインパクトのある保存、修復プロジェクトや地域のディベロッパーや旅行者に環境保全の必要性を訴えるようなプロジェクトがありましたら、本補助金制度の申し込みを是非御検討下さい。PATA 基金は、こうしたプロジェクトに対し過去 20 年間に亘り補助金を拠出してきており、日本では愛知県の明治村や沖縄県の竹富島の保全プロジェクトがその対象となった経緯があります。

本件に関する問い合わせは、PATA Director – Board and Foundation Relations, Ms.Ratana Poopitakchatkaew までお願いします。(e-mail: [foundation@pata.org](mailto:foundation@pata.org))

## PATA マカオ総会 (2005) 情報

第 54 回 PATA 年次総会は、「Connecting Tourism's Stakeholders」というタイトルにて、2005 年の 4 月 17 日から 21 日まで、マカオにおいて開催されます。先日、マカオ観光局は、PATA 香港支部メンバーを招いて、特別行政地区の視察とマカオの最近の発展状況に関するプレゼンテーションを実施しました。マカオ総会においては香港とマカオが協力して、総会前後のツアーに関する準備、手配を進める予定です。



太平洋アジア観光協会 (PATA) 日本支部事務局  
〒160-0005 東京都新宿区愛住町 23 ウッディ 2 1  
TEL : 03-5367-3320 FAX : 03-3225-0071  
URL <http://www.patajapan.com>